学校番号	3005

令和２年度　　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	科学と人間生活　新訂版（実教出版）						
副教材等	入門理科（化学編）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

観察・実験・調査などを通して身近な自然の現象を科学的に考察する学習活動、教材・教具等を工夫し、自ら興味を持って学習ができる能力や態度を育成し、基本的な例題を通して問題解決の力を身につけさせるような主体的・体験的な学習活動を目指す。

２　学習の到達目標

観察・実験などを通して、自然の事物・現象について理解させるとともに、人間と自然とのかかわりについて考察させ、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・自然の事物や現象に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとする。	・自然の事物や現象に問題を見出し，実験・観察・調査を行うとともに，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。	・自然の事物や現象に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，自然の事物現象や科学と人間生活の関係を調査研究する方法を身につけ，それらの過程や結果，そこから導き出された考えを的確に表現することができる。	・自然の事物や現象に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，知識を獲得する方法についても理解し，適切に利用することができる。
評価方法	・授業態度 ・ノート等	・定期考査 ・実験の考察	・実験の取り組み	・定期考査 ・小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	C	d		
前期	1章　科学と技術の発展	1.科学と技術の始まり 2.生物学と医療 3.化学の魅力－元素から地球環境まで－	○	○	○	○	a: 科学と技術の発展に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとする。 b: 科学と技術の発展に問題を見出し，実験・観察・調査を行うとともに，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。 c: 科学と技術の発展に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。 d: 科学と技術の発展に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，知識を獲得する方法についても理解し，適切に利用することができる。	出席状況、課題レポート、ノート点検、小テスト、定期考査等によって行う。

前期	2章　光や熱の科学	1節　光の性質とその利用	○	○	○	○	a：光の性質とその利用に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとする。 b：光の性質とその利用に問題を見出し，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。 c：光の性質とその利用に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。 d：光の性質とその利用に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，適切に利用することができる。	出席状況、課題レポート、ノート点検、小テスト、定期考査等によって行う。
		2節　熱の性質とその利用	○	○	○	○	a：熱の性質とその利用に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとする。 b：熱の性質とその利用に問題を見出し，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。 c：熱の性質とその利用に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。 d：熱の性質とその利用に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，適切に利用することができる。	出席状況、課題レポート、ノート点検、小テスト、定期考査等によって行う。

前期	3章 物質の科学	1節 材料とその再利用	○	○	○	○	a: 材料とその再利用に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとする。 b: 材料とその再利用に問題を見出し，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。 c: 材料とその再利用に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。 d: 材料とその再利用に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，適切に利用することができる。	出席状況、課題レポート、ノート点検、小テスト、定期考査等によって行う。
		2節 食品と衣料	○	○	○	○	a: 食品と衣料に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとする。 b: 食品と衣料に問題を見出し，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。 c: 食品と衣料に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。 d: 食品と衣料に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，適切に利用することができる。	出席状況、課題レポート、ノート点検、小テスト、定期考査等によって行う。

後期	4章 生命の科学	1節 生物と光	○	○	○	○	a: 生物と光に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとする。 b: 生物と光に問題を見出し，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。 c: 生物と光に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。 d: に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，適切に利用することができる。	出席状況、課題レポート、ノート点検、小テスト、定期考査等によって行う。
		2節　微生物とその利用	○	○	○	○	a: 微生物とその利用に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとする。 b: 微生物とその利用に問題を見出し，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。 c: 微生物とその利用に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。 d: 微生物とその利用に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，適切に利用することができる。	出席状況、課題レポート、ノート点検、小テスト、定期考査等によって行う。

後期	5章 宇宙や地球の科学	1節 身近な天体と太陽系における地球	○	○	○	○	a: 身近な天体と太陽系における地球に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとする。 b: 身近な天体と太陽系における地球に問題を見出し，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。 c: 身近な天体と太陽系における地球に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。 d: 身近な天体と太陽系における地球に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，適切に利用することができる。	出席状況、課題レポート、ノート点検、小テスト、定期考査等によって行う。
		2節 身近な自然景観と自然災害	○	○	○	○	a: 身近な自然景観と自然災害に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとする。 b: 身近な自然景観と自然災害に問題を見出し，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。 c: 身近な自然景観と自然災害に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。 d: に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，適切に利用することができる。	出席状況、課題レポート、ノート点検、小テスト、定期考査等によって行う。

後期	6章 科学・技術の進歩と人間生活	課題研究など	○	○	○	○	a: 科学・技術の進歩と人間生活に関心を持ち，科学の発展と人間生活との関係を意欲的に調査・探究して，科学的な見方・考え方を身につけようとする。 b: 科学・技術の進歩と人間生活に問題を見出し，ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより，総合的に判断し，それを表現することができる。 c: 科学・技術の進歩と人間生活に関する調査・実験・観察の技能を習得するとともに，調査研究する方法を身につけ，考えを的確に表現することができる。 d: 科学・技術の進歩と人間生活に関して，人間が長い時間をかけて獲得した知識の有用性を理解するとともに，適切に利用することができる。	出席状況、課題レポート、ノート点検、小テスト、定期考査等によって行う。

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。